



イリノテカン+ラムシルマブ療法
(カンプト+サイラムザ)

患者名: 患者 ID: 身長: 体重: (月 日測定)

主治医: 指導医: 年齢: 体表面積: CREA: (月 日採血)

CHEMOTHERAPY REGIMEN

1クールを14日として PD (progressive disease) となるまで繰り返す。

		day1	day8	day15	day22
サイラムザ(ラムシルマブ)	8mg/kg	↓	休	↓	休
カンプト(イリノテカン)	150mg/m ²	↓	休	↓	休
催吐性リスク		中等度		中等度	

day1

0. 22μのインラインフィルターを使用すること。(サイラムザ)

レスタミンコーワ錠 5錠
点滴①開始時に内服

処方) イメンドカプセルセット1セット
点滴①開始時に内服すること。
day2、day3 は午前中に内服すること。

※当院の入院ワークシートには2日目3日目に内服する予定のイメンドが印刷されません。(仕様です。)

① 大塚生食注 100ml 1本
グラニセトロン 3mg 1A
デキサート 6.6mg 1本
30分かけて点滴

② 生理食塩液 250ml 1本
サイラムザ 500mg ()本
サイラムザ 100mg ()本
60分かけて点滴
2回目以降30分かけて点滴

※サイラムザ
8mg/kg × 体重()
=()mg

※忍容性が良好であれば点滴時間を短縮できる

③ 生理食塩液 250ml 1本
カンプト 100mg ()本
カンプト 40mg ()本
90分かけて点滴

※カンプト
150mg/m² × 体表面積()
=()mg

④ 生理食塩液 50mL 1本
全開で滴下

次ページへ続く



イリノテカン+ラムシルマブ療法
(カンプト+サイラムザ)

REFERENCES:

胃がん治療ガイドライン 第6版

Results of a phase II trial of ramucirumab plus irinotecan as second-line treatment for patients with advanced gastric cancer (HGCSG 1603).

2021 *Gastrointestinal Cancers Symposium*

制吐剤について：[日本癌治療学会 制吐剤適正使用ガイドライン](#)

FNについて：[日本臨床腫瘍学会 発熱性好中球減少症診療ガイドライン](#)

G-CSF について：[日本癌治療学会 G-CSF 適正使用ガイドライン](#)